

## Koriyama West Weekly Report



Rotary

第12回例会  
No. 2785

会 長/鈴木 茂 幹 事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文

会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理

事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ービル1階 ☎024-923-0847

例会日/水曜日12:30~13:30

例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

## Crossing Borders: My Experience of Studying in Japan and the Path Ahead

「国境を越える：日本留学の経験とこれからの道」

米山記念奨学生 卓話ウィリアムズ・ヨハンナ・イエリマ氏 ナイジェリア出身

ホストクラブ 福島グローバルRC

開成山大神宮参集殿

開会点鐘 国歌斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」

四つのテスト唱和 鈴木 茂会長挨拶

皆様こんにちは。本日は、今月が米山奨学会記念月間という事で、米山奨学生のヨハンナさんをゲストにお招きしました。サポートとして鈴木美恵子福島グローバルRC会長もお出で下さいました。ロータリーの例会は毎月テーマがあります。行事予定表と年次計画書に各月の月間が書いてありますのでそちらをご覧ください。当クラブのMr. 米山と言えば今まで多額の寄付をして頂いている七海会員です。七海会員以外は米山寄付に関りが薄い所があるので、今日の卓話を機に、米山奨学会へ理解をより深めて参りたいと思います。米山奨学会の目的は、将来母国市日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する事です。規模は民間の奨学団体としては日本一、国内最大というのをずっと続けていて、年間900名を採用しています。特徴としては、ただお金を渡すだけではなく、ロータリークラブが全面サポートして、カウンセラーによって心の通った支援があるという事で、他の奨学団体とは異なっている所です。国際社会に向けてという所がロータリーのポイントで、広く自国の良い所を広めてもらうために、この制度はとても素敵ではないかと思います。

最後に安岡正篤先生の言葉をご案内します。「縁尋機妙多逢聖因」良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある。いい人に交わっていると良い結果に恵まれる。人間はできるだけいい機会、いい場所、いい人、いい書物に会う事を考えなければならない。と、安岡先生は仰っています。ロータリーもそういった団体になりたいと思いますので、今後とも宜しくお願いします。

今日の食事は、郡山西ローターアクトクラブ会長佐藤あめる君のお店ニュータージマハルのカレーランチです。お父さんは福島グローバルRCの佐藤覇者頼人会員です。



## 出席報告

今泉雄二出席小委員長

会員数39名 出席者数21名 欠席者数18名 出席率53.85% 前回出席率74.35% 他クラブ出席者 9/28(土)地区社会・国際奉仕合同セミナー 遠藤雄一会員 鈴木淳弥会員 ビジター 鈴木美恵子福島グローバルRC会長

## 結婚・誕生祝 星 千春親睦活動委員長

【結婚祝】高橋金一会員 S62.10.17

柿沼雄二会員 H7.10.23

高橋晋也会員 H16.10.24

【誕生祝】森尾和衛会長 S32.10.10

金田岩光会員 S49.10.4



鈴木功一会員 S39.10.27 氏家勇一会員 S44.10.19

## ニコニコBOX報告

阿部治江ニコニコBOX委員長

関根会員 誕生日のお花有難うございました。カミさんも喜んでました。【ゲスト卓話に期待して】阿部会員 伊東会員 乾会員 鈴木会長 高橋(金)会員 星会員 満井会員 今泉会員 金田会員 佐藤会員 鈴木(功)会員 鈴木(淳)会員 土井会員 七海会員 堀江会員 森尾会員 柳沼会員 今週のニコニコ大賞 七海正克会員



米山記念奨学生卓話 ウィリアムズ・ヨハンナ・イエリマ氏

※翻訳 鈴木美恵子会長

本日、郡山西ロータリークラブで、スピーチの機会をいただき、ありがとうございます。これまで、米山記念奨学生として、会津大学の大学院博士課程で学ぶことができましたのは、皆様のご支援のおかげであると心から感謝しております。



あらためて自己紹介させていただきます。私は、ナイジェリア出身の米山記念奨学生 ウィリアムズ ヨハンナ イェリマです。1990年5月19日生まれで現在34歳です。両親は、亡くなりましたが、父は銀行員で、母は看護婦をしていました。私が生まれてから、母は私の育児に専念するため、看護婦をやめました。両親とも私の将来のために、教育に力を入れてくれました。自分の今があるのは、多くの方のおかげですが、両親には感謝しています。

母国、ナイジェリアについて説明します。地図を示しましたのでご覧ください。首都はアブジャ。人口は2億3千万人。アフリカでは、最も人口が多く、世界第7位でもある。出生率が高く、人口の増加率も高いですが、衛生面、感染症や病気などで、乳幼児や幼児の死亡率も高いのが現状です。平均寿命は、53歳。

天然資源が豊かで、石油の算出はアフリカ第1位で、その他にも天然ガス、石炭、グラスサンド(ガラスの原料)鉄鉱石、鉛や亜鉛、金など取れます。しかし、この国には、様々な課題があります。世界6位の石油算出量(埋蔵量は、米国とメキシコの合計以上)により、政府予算がオイルマネーで膨れ上がり、それは庶民の生活を豊かにするどころか、国家の役人や軍人がオイルマネーを流用し、政府は退廃、治安の悪化、政情不安、集団暴力、汚職が蔓延するような状況を作り出しています。他国が深海油田の利権を買いあさり、政府に大規模なインフラ投資を約束しつつ、影響力を拡大しています。

いくつかの大きな都市は、近代的な様相を呈しているが、郊外に目を向けるとスラム街に住む多くの庶民や失業者がゴミの中か、売れるものを探して生活の糧にしている様子があります。インフラ整備などが不十分で、街中の道路も荒れたままで、電気、水道なども安定的に供給されていません。屋根がない学校

の建物で、子供たちは、教科書や教材も準備されてないところ学んでいます。教育が十分におこなわれていないため、若い労働力が生かされず、海外に流出し、自分のように海外で学ぶために国を出る若者も多いというのが現状です。

ちょっと暗い話が続きましたので、おいしい食事の紹介をします。ナイジェリアの一般的な食べ物は、様々な種類の米で、様々な野菜のスープ、魚、牛肉などを野菜と煮込んだ料理を食べています。私も会津で、「ナイジェリア風料理」を自炊していました。

会津大学に来るまで、様々な困難がありました。コロナがあり、なかなか日本に入国することができず、大変でしたが、米山記念奨学会の支援で、会津での生活、研究を始めることができました。博士課程での勉強は、ハードで何度もくじけそうになりました。教授は成果を出すことを求めて、様々な課題を出し、とても厳しくて大変でした。しかし、この教授との出会いがなければ、会津に来ることもありませんでしたし、自分の研究で博士号を取ることもできなかったので感謝しています。

米山奨学生のためのオリエンテーションでは、スピーチをはじめ、日本での生活に適應するために多くのことを学び、大変役立ちました。クラブの皆さんとポリオの募金や猪苗代の水草清掃などのボランティア活動にも参加しました。ライラの研修で、参加した様々な分野の若い仲間たちと一つのテーマについて話し合い、発表の準備をしました。とても貴重な経験でした。私は、大学での研究をすべて英語で行っていたので、日本を話す機会がなく、いまだに日本語が話せないことが悩みです。しかし、最近、マクドナルドでアルバイトをして、仲間たちとの会話で少しずつ、日本語を話せるようになってきました。これからも日本語を話せるよう頑張りたいです。

研究で疲れているとき、私は、福島グローバルロータリークラブの小林さんのところにホームステイさせていただきました。小林さんの家族と和やかに楽しい時間を過ごし、心が癒されました。子どもたちや奥さんと公園に出かけてスポーツをしたり、家で初めてけん玉をしたり、ゲームをしたりしました。小林さんのお母さんは、以前美容師をしていたということで、小林さんの着物を私に着せてくれました。

博士号の証明書を授与されたとき、記念写真を撮っておこうということになり、会津の武士



のように、羽織袴を着せていただき、写真を撮っていただきました。小林さんの友人の星さんという写真を撮るのが得意な方が取ってくれました。私にとって、貴重な記念の写真です。みんなに、着物が似合っている、かっこ良いと褒められ、ちょっと照れてしまいましたが、うれしかったです。

最後にこれからのことですが、私は、世界的な IT 企業である、Alps Alpine という会社に入社することになりました。10月7日から、2週間ほど東京で研修を受け、その後いわきの支社に勤務することになっています。将来的には、会社か教育機関で研究者、または、AI エンジニアとして活躍できればと考えています。

本当に、ここまでがんばれたのは、米山奨学記念奨学金の支援のおかげです。そして、多くのロータリアンの皆様、郡山のロータリークラブの皆様、会津の地域の方々などが自分を支えてくれました。心から感謝しています。これからもロータリーファミリーの一員として、皆様にお世話になってがんばっていききたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。本日は、スピーチの機会をいただきありがとうございます。追伸：バシャラットさんがレストランをオープンし、その会議室で例会をするようになりました。例会の時にいつもおいしいカレーをごちそうになっています。今日、ここでバシャラットさんのカレーが食べられるとは思っていませんでした。驚きましたし、皆様のお心遣いに感謝いたします。

生後2ヶ月の私と母



My Country (私の国)

Challenges (課題)  
Results: Poor infrastructure



My Country (私の国)



My Country (私の国)

Foods (食品)  
• Soups (スープ)



野菜スープ



オクラのスープ



パンダキンスープ

My experience as a Yoneyema Scholar

米山奨学生としての経験

Extended Homestay:



My experience as a Yoneyema Scholar

米山奨学生としての経験

Homestay:

Benefits: Relax my mind away from my research.  
Lessons: Games with parent or seniors involved, Individual coordination.



My experience as a Yoneyema Scholar

米山奨学生としての経験

Extended Homestay:

